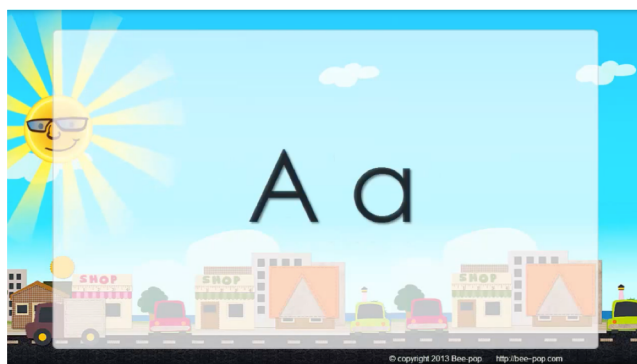


Phonics（フォニックス）の勧め

英語圏で育って英語を問題なく話せても、英文を読む、という行為はやはり日々の練習が必要で、英語圏で育つ子どもたちにとっても読み書きは決して簡単なことではありません。

英語圏で育つ子どもたちは、フォニックスという方法で、読み方を学んでいきます。フォニックスというのは、単語のスペリングと発音を関係づけて読み方を教える方法で、その方法で25のアルファベットの各々の発音を覚えてしまえば、どんな単語も発音して読めることができるようになります。例えば、フォニックスで「b」はブツと発音し、「o」はオウ、「x」はックス、と発音するため、「box」という文字に出会った時に、ブツ・オウ・ックス、ボックス！と読めることができるようになります。日本の小学生にとってもフォニックスの発音を覚えるのは、決して難しいことではありません。方法としては、動画などの手法を使っただの繰り返し練習をお勧めします。

phonics / songs と動画を探すとたくさんの子ども向けの動画を探ことができますが、Bee Popが作成した動画は、シンプルで2分以内で終了し、さらに無料とおすすめです。



[<https://vimeo.com/155121485>]

英語の授業の始めにウォームアップとして毎回動画を流して練習すれば、吸収の早い時期ですのですぐに覚え、新しい英単語に出会ったときでも難なく発音して読めるようになります。